

◆令和6年度 第1回 建設事業外部評価委員会 議事要録◆

1 日時 令和6年9月10日（火）14:00～16:00

2 場所 神戸商工貿易センタービル22階 第2研修室

3 出席者

○委員

井上定子委員、大石哲委員、太田尚孝委員、島田奈美委員、
馬場美智子委員、福島徹委員

○事業所管課

建設局道路工務課、都市局駅まち推進課

○事務局

建設局技術管理課

4 議事

1) 令和6年度建設事業外部評価委員会の運営等について

○会長の選出、会長代理の指名について

- ・ 神戸市事務事業外部評価委員会及び建設事業外部評価委員会に関する規則第2条第1項に基づき、委員の互選により福島徹委員が会長に選出される。
- ・ 上記規則第3条第3項に基づき、福島徹会長より井上定子委員が会長代理に指名される。

2) 審議

- ・ 市長からの審議依頼書の提出を受け、再評価1件、事後評価1件について、市より評価内容の説明を受け審議を行った。
 - 1) 「国道428号（箕谷北）道路改良事業」
 - 2) 「都市構造再編集中支援事業 神戸ハーバーランド地区（第2期）」

3) その他

○今後の予定について

- ・ 第2回委員会は、神戸商工貿易センタービル22階第3研修室で令和6年11月27日（水）15時00分から開催予定。

○情報の公開について

- ・ 委員会資料及び議事要録については、ホームページへの掲載並びに市民情報サ

ービス課での閲覧により公表する。

5 審議

○「国道 428 号（箕谷北）道路改良事業」

事業所管課：建設局道路工務課

- (委員) バイパス開通後、現道はどうなるのか。現道も含めて、災害による通行止めはなくなるのか。
- (所管課) 現道はほぼ現況どおりであるが、取り付け部が一部変更になる。災害による通行止めが絶対になくならないと言いきれないが、バイパス整備により災害による通行止めが発生するおそれが減るのは確かである。
- (委員) 貨幣換算が困難な効果として「異常気象時や災害時における通行止めによる損失の回避」があるが、現道において災害による通行止めはなくなるのではないのか。
- (所管課) 現道はおっしゃる通りであるが、交通の大半を占めている通過交通への影響をなくすることができる。
- (委員) 用地買収で時間がかかったために、事業期間が延期となることは理解した。当初、昼夜交代で施工する計画としていたが、昼間施工のみに変更するという理解でよいか。このために工期を延長するというにはならないのか。
- (所管課) おっしゃる通り、工期の延長が発生し、当初の計画より約 1 か月延長となる。当初より、民家に近接している箇所は昼間施工で考えていたので、そこまで大きな影響はない。
- (委員) この整備により、災害時に緊急輸送道路を通行できるようになるという理解でよいのか。そうであれば、貨幣価値が困難な効果としてこの旨を盛り込んでもよいのではないのか。
- (委員) 増額理由については理解できた。トンネルの施工費用は、ここ数年で異様な高騰をみせている。今後、これよりも施工費用が増額するという見込はあるものなのか。
- (所管課) 現在の価格で算出したものであるため、近年の物価高騰を鑑みれば、今後増額となる可能性はあり、B/C が変わる可能性もある。
- (会長) 貨幣価値が困難な効果として「異常気象時や災害時における通行止めによる損失の回避」があるが、これがこの事業の主目的であると思う。計算手法は決まったものがあるが、これをなんとか費用便益分析に盛り込むことはできないか。主目的は費用便益分析に盛り込んだ方がよい。
- (所管課) 通行止めに伴う迂回による損失を計算する。
- (委員) 事業の必要性で、三木市には防災拠点もあることから、緊急輸送道路に指定されているという点は重要であると考えている。貨幣価値が困難な効果

として、国道 428 号を使用できなかった時に迂回路を使用した場合の時間の損失を含めることを考えてもよいのかなと思う。

(会 長) 災害時の対応を含めて、便益にもりこむ検討が必要ではないか。

(所管課) 数値としてはざっくりとしたものになってしまうので、通行止めに伴う迂回による損失を貨幣換算が困難な効果の中に参考値としての記載を考えたい。

(委 員) 便益のひとつに、二酸化炭素の排出量の換算を盛り込んでどうか。走行時間短縮便益の原単位を変えれば算出できると思う。

(所管課) 検討する。

○「都市構造再編集集中支援事業 神戸ハーバーランド地区（第 2 期）」

事業所管課：都市局駅まち推進課

(委 員) ・資料 p.5 の地図で、アクセス機能の向上でもある「神戸駅前広場（南側）再整備」の写真の枠の色が違うのではないか。

・資料 P.23 のコミュニティサイクル相生町ポートの従前値は H28 年度ではなく H29 年度とするべきではないか。

(所管課) 修正する。

(委 員) わかりやすい資料になっていると思う。事業評価自体はこれでよいと思う。今後、お願いしたいことが 2 点ある。1 点目は、面的にまちの状況がどうなっているのか、事業でどう変わるのか、ということも説明や評価に組み込んでほしい、ということである。本来的な事業の目的はそこであると思う。面的な整備のときにわかりにくい事業ではあると思うが、この事業がどれだけまち全体の向上に寄与できているか、優先順位の高い事業であるということを示してほしい。2 点目は、気象の変化も評価に盛り込んでほしい、ということである。近年、経験したことのない気象（暑さ）になってきており、気候変動への対策は必然的になってくる。この気象の変化も評価の数値に影響を与えるのではないか。例えば、本日のような気温であれば、屋外でのイベントは難しく、仮にイベントを開催した場合でも、気象を考慮したデータの読み取り方もあると思う。

(会 長) 三宮の再整備が大きな取組となっており、そちらに言及するのもよいのではないか。

(委 員) 事業毎の指標は理解した。まち全体としての指標（訪問人数の増減、商業施設への来訪者数）があれば、さらによいのではないか。デッキを使った人が増えることよりも、まち全体が潤っていくことの方が重要ではないかと思う。

(所管課) 地区の来街者数については、コロナ禍は低迷したがようやくコロナ前の水準に回復してきたところで事業前後の評価がなかなか難しいというのが

現状であるが、注視していきたい。

- (委員) 三宮の再整備では国際化というキーワードがあったが、この事業ではどうか。
- (所管課) ハーバーランドも、インバウンドの方が増えてきている。神戸空港国際化の話もあり、インバウンドの方も集客していきたいと考えているが、この取り組みでは、インバウンドに特化した取り組みがなく、現在の分析には含めていない。
- (委員) コミュニティサイクル「コベリン」の設置箇所は、神戸市内で東川崎町ポート、相生町ポートの2か所のみか。他にもポートがあれば、そちらの利用状況も教えてほしい。地区外の方がこの資料を見ると、この2か所しかないと思ってしまうのではないか。神戸は坂が多いので便利と感じるのではないか。
- (所管課) 他の場所にも設置されているが、利用状況まで把握できていない。状況を確認し、参考に記載する。
- (会長) 様々な事業を行っていくことで、まち全体的にかさ上げをしていく、という視点を評価に盛り込むことも今後検討してほしい。例えば、まちの回遊性を向上させるという目的の手段のひとつとしてコミュニティサイクル「コベリン」がある。回遊性を向上させるためには、足を延ばしてみたいと思わせるしかけが他にもあると思う。
- (委員) 足を延ばしてみたいと思わせるしかけとして、コミュニティサイクル「コベリン」を配備するだけでなく、ポートに地図を設置したり、推奨ルートをつくったり、ということも考えられると思う。神戸の海岸エリアは複雑な道になっていると思うので、そのあたりをうまく誘導し、もう一歩足を延ばそうと思わせる施策に結び付けられるとよいと思う。